ガバナー月信 1月号

Rotary 第2750地区

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

Governor's message

国際ロータリー第2750地区　2021-22年度ガバナー
三浦　眞一

気持ちを新たに、充実した奉仕活動を！

あけましておめでとうございます。

新しい年が、皆様にとりまして素晴らしい年になりますようお祈りいたします。

本年度は、コロナ禍による緊急事態宣言下での船出でございました。解除される9月末までの間、リアルでのお顔合わせができず、寂しさをかみしめながらの3か月を過ごされたことと思います。

公式訪問は、さまざまな工夫をしていただきながらの開催でございました。おかげさまで11月30日に国内最後の公式訪問を終えることができました。これもひとえに会長・幹事の皆様、会員の皆様のロータリーにかける情熱の賜物と心より御礼申し上げます。ＰＢＧ（パシフィックベイスングループ）へは、今期は必ずご訪問をさせていただきたく決意を新たにしております。

秋からは全国各地での地区大会も始まり、参加可能な地区への訪問をさせていただきました。10月、韓国慶州で開催された国際ロータリー（ＲＩ）会長主催会議にＺＯＯＭで参加し、地区内で実施された「疾病予防と治療」についての事例発表をいたしました。

10月18日からの1週間は、公共イメージ委員会が中心になり、トレインジャックを実施。ＪＲ各線に「END POLIO NOW」の中刷り広告を掲示するとともに、最終日には「世界ポリオデー」の啓蒙活動としてウオークラリーをポリオを罹患された皆様、ロータリアン、ローターアクターとともに実施し、素晴らしい成果をあげていただきました。

1月のテーマは「職業奉仕月間」です。昨年11月に開催されました「職業奉仕セミナー」には、例年を大きく上回る約200名の会員のご参加いただきました。職業あってのロータリー活動であることを実感いたしましたのは、私だけではなかったと思います。

年度後半は、２月21・22日に開催されます地区大会をはじめ、ＩＭ（インターシティー・ミーティング）やロータリー奉仕デーの事業、クラブの周年式典など多くの予定が組まれておりますが、会員の皆様とともに参加をさせていただき語り合いたいと思います。そして6月にアメリカ・ヒューストンの地で開催されます国際大会では、宇宙を肌で感じながらのガバナーナイトを開催させていただき、一年の軌跡を多くの会員の皆様と語り明かしたいと思います。

会員増強は、年間を通じての大テーマであります。多くの仲間を迎え会員5,000人を有するリーディング地区としての役割を果たすべく、皆様のご協力をお願い申し上げます。2022年はクラブ会員の皆様とともに、多くの仲間を得て、充実した「奉仕活動の年」になりますようお誓い申し上げます。

職業奉仕月間

「ロータリーの目的」の前文には「ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある」とあり、第2項に「職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること」と述べられています。

「ロータリアンの行動規範」には「1. 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。2. 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。3. 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。（以下省略）」とあります。

渋沢栄一とSDGs

職業奉仕委員会 委員長　市川　和博（東京八王子南ＲＣ）

11月12日、ホテルニューオータニ（東京）で、200名の参加を得て地区職業奉仕セミナーが開催されました。過去5回の当セミナーは職業奉仕の歴史、理念、哲学について理解を深め共通認識を得る内容でした。その集大成として昨年度の委員会は“『職業奉仕』だより”を刊行しました。そこで今回は、日本人の商業道徳の姿を顧みながら、且つこれからのロータリアンの在り方が問われるSDGｓへのアプローチを考える場として、「渋沢栄一の企業と福祉の萌芽」「SDGsとロータリー」と題して、渋沢史料館副館長 桑原 功一氏、SDGs支援機構代表理事 河上 伸之輔氏（元RID2610ローターアクト代表）をお迎えして、情熱あふれる講演をいただきました。

渋沢翁が国、国民に残した歴史的功績は、翁の時代を見る眼の確かさと、“官尊民卑”の精神にあり、“論語と算盤”を実証した、“道徳経済合一”“義と利”“福祉支援”の実践につながっていったとのことでした。また、SDGsは既に小・中・高の教科に組み込まれ、企業広告にもSDGsの活字を見ない日はないほど広まっています。“持続可能な開発（人間開発）目標”への具体的取り組みは既にグローバル企業では積極的に行われており、そこではESG（環境、社会、ガバナンス）投資の拡大、サプライチェーンへの責任、ミレニアル世代の台頭等が顕著になっているとのことでした。

ロータリーのロータリーたる所以である「職業奉仕」の血は150年前の昔から私たちに脈々と流れていることを強く意識し、SDGsの先駆は私たちロータリアンにあることを覚醒させられたセミナーでした。

2年振りの地区大会でロータリアンの溢れる笑顔を!

地区大会実行委員会 委員長　田辺　隆一郎（東京八王子西ＲＣ）

ロータリーの活動もコロナ禍で２年間苦しみ蹉いて参りましたが、ようやく落ち着きをみせ、徐々に正常な状態に戻りつつあります。2021-22年度国際ロータリー第2750地区の地区大会も、２年振りにロータリアンが一堂に会し、ロータリーの友情を確認し、その輪を広げていく事が出来るリアルな大会となります。このような大会ですので、参加される皆様が和やかに楽しんでいただけるものにしたいと、実行委員一同、準備に励んでいます。ロータリアンの笑顔が会場に溢れますように。

日 程　2022年2月21日（月）16:30～20:00
各種委員会／ＲＩ会長代理歓迎晩餐会
2月22日（火）10:30～19:50
クラブ会長・幹事会／本会議／懇親会

場 所　グランドプリンスホテル新高輪
国際館パミール

※詳しくは、地区大会チラシをご覧ください。

地区の星を探して
【第一回】

子ども達の笑顔を見たいから ～子ども食堂と児童養護施設への支援～

冨倉　進（東京田園調布ＲＣ）

私の、児童養護施設支援はチャリティーバザーに2000年10月から参加することから始まりました。地元大田区にある聖フランシスコ子供寮のバザーです。仕事柄お付き合いのある大家さんの押入れに眠っているタオルセットやティーカップセットなどを寄贈してもらい、社員も協力して売上金を全額寄付しました。弊社の15名の社員と一緒に準備をし、当日はボランティア休暇として、給料は支給するが仕事はせず、全員でバザーに参加しました。以降、これが毎年の行事となりました。

このような活動を続けてきた私が日本で最初に子ども食堂を立ち上げた大田区で運営している「だんだん子ども食堂」近藤博子さんをお尋ねしたのは、２年前の初夏でした。個人として、ロータリークラブとして何ができるのかを近藤代表、大田区社会福祉協議会と打ち合わせ、年明けから大田区にある22か所の子ども食堂で何が必要かアンケートを取りました。その結果、50万円の地区補助金で各子ども食堂の要望されている品を購入して社会福祉協議会（社協）へ届け、社協では品物を仕分けし、東京田園調布ロータリークラブ（ＲＣ）の石井宏会員、指田春乃会員、私３人で17か所に届けに周りました。

届け先では必ず運営者に今抱えている問題点、改善点などをヒアリングし、そのことで大きな課題を背負うこととなりました、課題の一つが子ども食堂のないエリアがあり、そこが最も困窮家庭が多いということ。そこでメンバーと相談して、我々でお福分け会（フードパントリー）を開催しようと決断しました。そのような中で名古屋名東ＲＣ藤野直子さんからご縁を繋いでいただいたのが名古屋名南ＲＣの加藤英敏社長です。カネハツ食品㈱の代表に就任され、私どもの活動に全面的応援いただけることとなりました。「これでこそロータリーです」素晴らしいですね。

活動を続けていくためには資金が必要となり、ロータリアンに寄付ばかり募るわけにもいかず、他の各種団体から補助金、支援金、支援物資を受けるために「ＮＰＯ法人ポセイドン＆チルドレン協会」を立ち上げました。現在では16クラブのロータリアン27名と友人知人有志が14名、合計41名で活動しています。

長年の間、児童養護施設と子ども食堂を支援させていただき、気がついたことの一つは、子どもの成長過程において経済的貧困と経験的貧困があることです。海水浴の経験がない子が多くいることに驚きました。クリスマスケーキやお節料理を食べた経験のない中学生がいます。この経済的と経験的の二つを克服していくことが大切です。

また、私は個人で友人と５年前から児童養護施設の未就学児室を訪問するようになりました。また、４年前からは東京グローバルＲＣとその会員の宇佐美弥子さんや宮脇潤子さんらの協力を得て毎月訪問する様にしました。物資だけではなく、子どもたちの心に一歩近づき、寄り添うそうことが必要だと思うようになったのです。

少しでも多くのロータリアンに子ども食堂、児童養護施設の現状を知っていただきたいと思い、卓話にお伺いしております、ご関心のあるクラブからの卓話依頼をお待ちしております。

最後に子ども食堂と児童養護施設での活動をまとめてみました。

活動のまとめ

【子ども食堂現在の活動】

1. お福わけ会を毎月2回開催
2. 他の子ども食堂に支援物資を届ける
3. 業界団体や行政からの支援物資の申請手続き及び集荷

【児童養護施設への活動】

1. 三浦市三崎町の小網代ハウスにて自然学習体験
2. 毎月1回の未就学児室訪問（コロナ禍は中止）
3. ジャガイモ堀り体験と小網代の森ハイク

2021年12月12日（日）港区赤坂区民センターで2021チャリティーキッズフェスタが東京サンライズ汐留ＲＣの主催、東京グローバルＲＣ、東京田園調布緑ＲＣ、東京田園調布ＲＣ有志の共催で行われました。
すべては子ども達の笑顔のために。

次ページに続く

子ども達の笑顔を見たいから ～子ども食堂と児童養護施設への支援～

おめでとうございます

ロータリーに長い歴史、クラブに尊い歴史

～今年度創立から節目の年を迎えるクラブ～

クラブ名	グループ	創立日	周年	記念例会日
東京赤坂RC	千代田	1986.10.3	35周年	2021.12.15(水)
東京中央RC	銀座・日本橋	1987.3.27	35周年	2022.3.3(木)
東京世田谷南RC	山の手西	1971.6.20	50周年	2022.3.8(火)
東京町田RC	多摩南	1962.3.25	60周年	2022.3.25(金)
東京中央新RC	銀座・日本橋	2001.7.16	20周年	2022.4.11(月)
東京府中RC	多摩東	1962.3.28	60周年	2022.4.13(水)
東京田園調布RC	京浜	1970.9.20	50周年	2022.4.22(金)
東京蒲田RC	京浜	1987.2.23	35周年	2022.4.22(金)
東京武蔵国分寺RC	多摩中	1992.5.11	30周年	2022.5.9(月)
東京日本橋西RC	銀座・日本橋	1987.4.15	35周年	―
東京みなとRC	千代田	1987.6.23	35周年	―
東京町田サルビアRC	多摩南	1987.6.25	35周年	―

＊ 記念例会日は、12/23時点での地区予定表に基づき掲載しました。

国際ロータリー第2750地区会員数報告 －11月分－

District 2750 Membership Report November 2021

クラブ名	例会	会員数		
		21年7月1日	21年11月末	増減
千代田グループ				
東京南	4	189	188	-1
東京芝	3	58	60	2
東京新橋	3	53	53	0
東京赤坂	4	46	52	6
東京みなと	2	32	32	0
東京麻布	3	13	15	2
東京グローバル	3	19	21	2
東京サンライズ汐留	2	16	16	0
銀座・日本橋グループ				
東京銀座	3	185	184	-1
東京日本橋	3	194	197	3
東京築地	3	70	71	1
東京日本橋東	2	42	42	0
東京中央	4	194	196	2
東京日本橋西	2	44	44	0
東京銀座新	3	76	76	0
東京シティ日本橋	3	31	31	0
東京中央新	5	56	58	2
東京あけぼの	4	19	20	1
東京山王	2	37	36	-1
東京バリアフリーマインド	2		20	20
京浜グループ				
東京羽田	3	51	52	1
東京品川	4	41	40	-1
東京大森	4	31	33	2
東京品川中央	3	28	27	-1
東京田園調布	2	44	45	1
東京港南マリーン	3	17	17	0
東京大崎	4	24	25	1
東京蒲田	4	66	66	0
東京京浜	2	24	24	0
東京田園調布緑	3	18	18	0
東京白金	5	27	30	3
東京高輪	2	20	22	2
山の手東グループ				
東京西	2	196	193	-3
東京城西	3	57	56	-1
東京西南	2	40	41	1
東京原宿	2	14	15	1
東京杉並	4	38	38	0
東京神宮	3	24	25	1
東京恵比寿	3	108	109	1
東京広尾	4	26	27	1
東京渋谷	4	35	36	1
東京六本木	4	53	53	0
東京愛宕	4	31	30	-1
山の手西グループ				
東京世田谷	2	41	42	1
東京目黒	4	33	33	0
東京成城	2	15	16	1
東京世田谷南	4	87	90	3
東京城南	2	15	24	9
東京山の手	3	70	72	2
東京成城新	3	30	31	1
東京青山	3	16	16	0
東京自由が丘	4	14	14	0
東京米山友愛	4	37	39	2
東京米山ロータリーEクラブ2750	1	35	36	1
東京代官山	2	26	27	1
多摩南グループ				
東京八王子	3	59	60	1
東京町田	4	57	66	9
東京日野	3	31	31	0
東京八王子西	4	107	108	1
東京町田・中	4	23	23	0
東京八王子東	4	34	34	0
東京八王子南	3	76	78	2
東京町田サルビア	4	35	36	1
東京飛火野	3	21	22	1
東京町田東	4	29	27	-2
東京八王子北	3	42	42	0
多摩中グループ				
東京立川	4	118	123	5
東京小金井	3	38	39	1
東京国分寺	4	37	37	0
東京三鷹	4	39	40	1
東京昭島	2	51	51	0
東京国立	3	42	42	0
東京立川こぶし	4	86	87	1
東京井の頭	4	23	25	2
東京昭島中央	3	48	49	1
東京武蔵国分寺	3	40	41	1
東京小金井さくら	3	29	29	0
東京国立白うめ	3	16	16	0
東京ピースウィングE	4	21	21	0
多摩東グループ				
東京府中	2	51	53	2
東京調布	4	60	62	2
東京多摩	3	17	17	0
東京稲城	4	26	26	0
東京武蔵府中	4	39	38	-1
東京たまがわ	3	17	16	-1
東京多摩グリーン	3	26	26	0
東京調布むらさき	3	64	65	1
東京iシティ	3	18	18	0
パシフィック・ベイスングループ				
Guam		51	53	2
Saipan		44	48	4
Tumon Bay	1	60	63	3
Northern Guam		31	32	1
Pohnpei		16	16	0
Palau		16	16	0
Guam Sunrise	4	14	16	2
Truk Lagoon		8	8	0
Pago Bay Guam E		25	24	-1
国内88クラブ計		4,226	4,322	96
地区97クラブ計		4,491	4,598	107

この記事は、各クラブへの
「ガバナー月信 配信版」で
ご参照ください。

編集後記

竹平　時彦（東京大森ＲＣ）

新型コロナウイルス発生以降、あらゆる業種で事業の見直しを余儀なくされたと思います。例えば会議などは「オンライン」となり、いずれやってくるであろうことが、“コロナ”は、一気にそれを変えました。そして今、新型コロナウイルスもついに収束の兆しが見えてきたようです。（まだ安心できませんが…）

ガバナー月信に関わるようになって18年（内一年ブランク）、その間17人のガバナーの「月信」制作のお手伝いをさせていただきました。

「ロータリーってなに？」

四つのテスト でいわれる

言行はこれに照らしてから
1. 真実かどうか　2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか　4. みんなのためになるかどうか

等の基本的な部分の認識をもとにして、編集スタッフの一員としてガバナー月信に携わらせていただきました。

今後とも微力ながらロータリー活動に尽力していきたいと思っています。

国際ロータリー第2750 地区　2021-22年度　ガバナー　三浦　眞一

Rotary International District 2750 2021-22 Governor Shinichi Miura

〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15　黒龍芝公園ビル3F　電話 03-3436-2750　FAX 03-5472-2750

KOKURYU SHIBA-KOEN BLDG. 3F, 2-6-15 SHIBA-KOEN, MINATO-KU, TOKYO, JAPAN 105-0011 PHONE 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

発　　行　ガバナー　三浦 眞一（2021-22）Shinichi Miura 2022

編集・制作　ガバナー月信・年次報告委員会

委 員 長　諸星 宗幸（東京八王子西）　委　　員　石川 和子（東京中央新）　竹平 時彦（東京大森）

副委員長　二神 典子（東京築地）　渡辺 和彦（東京銀座）　荒木 賢一（東京南）

浅川 立憲（東京八王子西）　太田　智（東京中央）　須賀川 誠（東京銀座）

第2750地区ホームページ

https://www.rid2750.org